

【一】次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

この部分は、著作権の関係上、公開できません。

問一 傍線①～⑤のカタカナを漢字にし、漢字に読みをつけなさい。

問二 傍線（a）、（b）、（c）の本文中の意味としてあてはまるものを次の中から一つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- (a) ごめんください    ア 断ったり、謝るときの言葉    イ 要求するときの言葉  
      ウ 訪問、辞去するときの言葉    エ 就寝するときの言葉
- (b) とうに    ア 結局は    イ 早くに    ウ やむを得ず    エ 全く  
      (c) たまわる    ア 渡す    イ 持つてくる    ウ 授ける    エ いただく

問三 空欄ABCにあてはまる語を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア そして    イ かつて    ウ すなわち    エ 次に    オ あるいは

問四 傍線（ア）「街でちよくちよく不思議な光景」とあるが、「不思議」な点について、三十字以内で説明しなさい。

問五 傍線（イ）「タメ語とよばれるナアナア言葉」と対比的にあるものを、ここから後の本文中から十五字以内で抜き出し答えなさい。

問六 傍線（ウ）「挨拶の言葉」とはどのような役割を果たしているか、二十字以内で説明しなさい。

問七 空欄エに入る語を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 成熟した    イ 卓越した    ウ 優美な    エ 万能な

問八 傍線（オ）「芥川龍之介」の作品としてあてはまらないものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア トロツコ    イ 河童    ウ セロ弾きのゴーシュ    エ 蜜柑

問九 傍線（カ）「胸中のこがらし咳となりけり」について答えなさい。

- (1) この歌の季語と季節を答えなさい。  
(2) どのような様子を詠んだものか、説明しなさい。  
(3) このような俳句はどのようなものだと述べているか、本文中より一語で抜き出して答えなさい。

問十 傍線（キ）「それが始まりです」とあるが、どういうことか、筆者の考えにあてはまらないものを選び、記号で答えなさい。

- ア 相手の心をつかむセンスの良い言葉がコミュニケーションには必要である。  
イ 言葉をたくさん費やすことによって、コミュニケーションは深まっていく。  
ウ 心に潤いが生まれる言葉のやり取りが、コミュニケーションの始まりである。  
エ 誰とでも気兼ねなく話すことによつて、コミュニケーションは始まっていく。

問十一 筆者の言う「挨拶の言葉」にあてはまらないものを次の中から選び記号で答えなさい。

- ア 謝礼のハガキに俳句を添える  
イ 入学式や卒業式での学長の式辞  
ウ 玄関先のプランターの植え込み  
エ 近所の人とすれ違う時の会釈

【二】次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

この部分は、著作権の関係上、公開できません。

この部分は、著作権の関係上、公開できません。

この部分は、著作権の関係上、公開できません。

下村 湖心の文章による

問一 文中の波線①～⑥のカタカナを漢字にし、漢字には読みを付けなさい。

問二 文中の空欄へ「」や「目」に入れる語として最も適切なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア おずおずと    イ のそのそと    ウ きよるきよると

エ もじもじと    オ うろうろと    カ ぞろぞろと

問三 傍線ア「人間は、くなるものである。」について

(1) 「表面が冷たくなる」とはどのようなことか。文中から十字以内で抜き出しなさい。

(2) 「内部が熱くなる」とはどのようなことか。二十字以内で説明しなさい。

問四 傍線イ「次郎は、くがまんがでなくなつた。」とあるが、この時の感情と対照的な次郎の感情が表れている一文を抜き出し、

初めと終わりの五字で答えなさい。

問五 本文に、「次郎はしまったと思つた。」という一文が入る。文中の(A)～(D)のどこに入れるのが適切か、記号で答えなさい。

問六 傍線ウ「さすがに次郎もうろたえた。」とあるが、理由として当てはまらないものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 逃げ場を得て安全だと思つていたのに祖母に見つかり、祖母が予想を越えて怒つていることが分かつたから。

イ 自分のいたずらを騒いでいるのを面白がつて見物していた矢先に皆に見つかり、しかられると思つたから。

ウ 祖母への報復を果たして喜んでいたのに、あつけなく見つかつてしまい、反撃を受けそうになっているから。

エ 意地悪な祖母から隠れたつもりが見つかつてしまい、またも祖母にいじめられることに恐怖を感じたから。

問七 傍線エ「俊亮も、今度こそはしっかりとしておくれよ。」とあるが、お祖母さんは息子である俊亮にどのようなことを期待していると思われるか。二十字以内で説明しなさい。

問八 二重傍線 a 「平ぐものように」 b 「枯れ木のように」とあるが、それぞれ次郎やお祖母さんのどのような様子をたとえた表現か。次の中から適切なものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(a) 平ぐものように

ア 次郎が常に自分をいじめる祖母を本能的にこわがつて隠れている様子。

イ 次郎が祖母の厳しい追及から何とか逃れようと息をひそめている様子。

ウ 次郎が祖母に危害を加えようと企んでひそかに待ち構えている様子。

エ 次郎がこの場を切り抜けるためにずる賢く振る舞っている様子。

(b) 枯れ木のように

ア 祖母の、自分が傷ついても次郎を追い詰める恐ろしい様子。

イ 祖母がすっかり年老いてしまい、見るからに弱々しい様子。

ウ 祖母が老いて怒りっぽく、気ばかり焦っているみじめな様子。

エ 祖母の、自分を大きく見せようとして失敗するあわれな様子。

問九 傍線オ「次郎は、彼とくできなくなってしまった。」とあるが、なぜか。父と目が合ったという点に注意して、四十字以内で説明しなさい。

問十 傍線カ「すると俊亮もそつと自分の目をこすった。」とあるが、この時の俊亮の心情を五十字以内で説明しなさい。

【三】次の文章は『枕草子』百八十一段の一節です。文章を読んで、後の問いに答えなさい。

雪の（a）いと高うはあらで、うすらかに降りたるなどは、（b）いとこそ1をかしけれ。

また、雪の（c）いと高う降り積もりたる夕暮より、端近う、同じ心なる人二三人ばかり、火桶をなかに①すゑて物語などするほどに、暗うなりぬれど、こなたには火もともさぬに、②おほかたの雪の光いと白う見えたるに、火箸して灰などかきすすみて、あはれなるもをかしきもいひあはせたるこそをかしけれ。

宵もや過ぎぬらむ思ふほどに、杳の音近う聞こゆれば、2あやしと見出したるに、③かやうのをりに、3おぼえなく見ゆる人なりけり。「今日の雪を、いかにと思ひやりながら、※④なでふことにさはりて、そのところに暮らしつる」などいふ。4「今日来む」などやうのすぢをいふらむかし。昼ありつることどもなどうちはじめて、よろずのことをいふ。※②円座ばかり5さし出でたれど、片つかたの足は下ながらあるに、鐘の音なども聞こゆるまで、※③内にも外にもこのいふことはあかずおぼゆる。

あけぐれのほどにかへるとて、「雪なにの山に満てり」と6誦したるはいとをかしきものなり。女の限りしては、さもえ明かさくらましを、ただなるよりはをかしう、好きたるありさまなど、7いひあはせたり。

※1 なでふことにさはりて…これといったことでもない用事に差しつかえて ※2 円座…わらで丸く編んだ敷物

※3 内にも外にも…室内の人も、外の人も

問一 破線（a）く（c）「いと」の中で、「それほど」と訳すものを一つ選び、記号で答えなさい。

問二 傍線①「すゑて」、②「おほかた」、③「かやうのをり」、④「なでふ」をそれぞれ現代かなづかいに直しなさい。

問三 この話はいつの時間帯の出来事か。次から適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 夕方から夜中    イ 夕方から翌日の夜明け    ウ 夕方から翌日の昼    エ 夕方から翌日の午後

問四 傍線1「をかしけれ」の意味を書きなさい。

問五 傍線2「あやし」、3「おぼえなく」の意味を次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

あやし    （ア）疑わしい    イ）不思議だ    ウ）納得できない    エ）とんでもない

おぼえなく    （ア）知らないうちに    イ）あわてないで    ウ）思いがけず    エ）時々    （    ）

問六 傍線4『今日来む』とは、「山里は雪ふりつみて道もなし今日来む人をあはれとは見む」という歌を踏まえている。このことから考えると、この人が来た理由を作者はどのように推測しているか。二十字以内で答えなさい。

問七 傍線5「さし出でたれど」、6「誦したる」、7「いひあはせたり」の主語を次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 同じ心なる人二三人ばかり    イ おぼえなく見ゆる人

問八 次の文は、この文章を読んだ三人の女子中学生の会話です。正しいものを四つ選び、記号で答えなさい。

ア 『枕草子』は鎌倉時代の作品だよ。

イ ちがうわ、江戸時代。

ウ 確か三大随筆の一つよね。

エ そうだっけ、『枕草子』って、紀行文じゃなかったっけ。

オ 作者は、えーと、「兼好法師」。

カ いや、「清少納言」じゃなかったっけ。

キ ちがいます、「紫式部」です。

ク 昔の女性も、今の私たちみたいに気の合う女の子だけでおしゃべりするのをいって思っていたなんて、おもしろいわ。

ケ それはそうだけど、やっぱり女の子だけじゃイマイチ盛り上がらないのよね。風流男がきてくれてよかったって、作者は言ってるわ。

コ そんなこと作者は言っていないわ。こんな雪の日は、女性だけで一晩中話せたらよかったのと言っているのよ。